

地域連携センター一年報

第5号（平成23年度）

愛知県立大学

地域に開かれた大学をめざして

地域連携センター長 井手口哲夫

大学では、従来教育と研究が大きな柱としてこれまで中心的に進められてきたが、本学においても5年前の独立法人化を期に地域連携センターが設置され、大学における第三の柱として地域連携・社会貢献が明確に打ち出され、まさに地域に開かれた大学としての歩みをさらに加速しているところである。

これまでの地域連携・社会貢献としては、多くの大学で行われている公開講座や学術講演会があるが、本大学においても公立大学としての特徴を活かすべくこれらの事業を地域の県民の方々に提供している。

地域連携・社会貢献についてももう少し具体的な活動について述べると、大きくはその中心となる大学の構成メンバーとして、教員と学生の二つの視点からの地域や社会への関わり方に分類することができる。

前者の教員を中心として活動として、教員それぞれの研究成果や研究活動に関連する地域連携や社会貢献があり、県民等への公開講座や民間企業との共同研究・受託研究などが具体的なものとして上げられる。特に、民間企業との共同研究や民間企業からの受託研究などは、本地域連携センターに設置されている産学連携推進室が窓口として位置付けられているが、実質的な活動は情報科学部・大学院情報科学研究科に關係する情報科学共同研究所が中心となって推進している。また、教員による公開講座の一形態として高校生への講座の開設が高大連携の一環として実施されており、さらには看護実践センターによる看護職等へのスキルアップ講座が開講され、多くの社会人への学習機会を提供している。

一方、学生が主体となる地域連携・社会貢献もボランティア活動を含め多くの学生の自主的な活動が展開されている。この学生の活動に関しては学生支援センターが対応している部分も多くある。特に、今年度においては東日本の大震災に対応した学生ボランティアの活動が公立大学協会などと連携として行われ、本学からも多くの学生が参加し、学内での講義では得ることのできない貴重な経験をし、人間としての大いなる成長を今後期待したい。

このように教員または学生などが地域との関わりあいをより深めることで、地域の県民や企業などへ開かれた大学としてさらに我々自身が努力することが必要である。

最後に学地域連携センターを支えていただいている学術情報部研究支援・地域連携課職員の皆さまの日ごろの活動に感謝し、教職員と学生が一体となって本学の地域連携・社会貢献をさらに進展させて行くことを誓いたい。

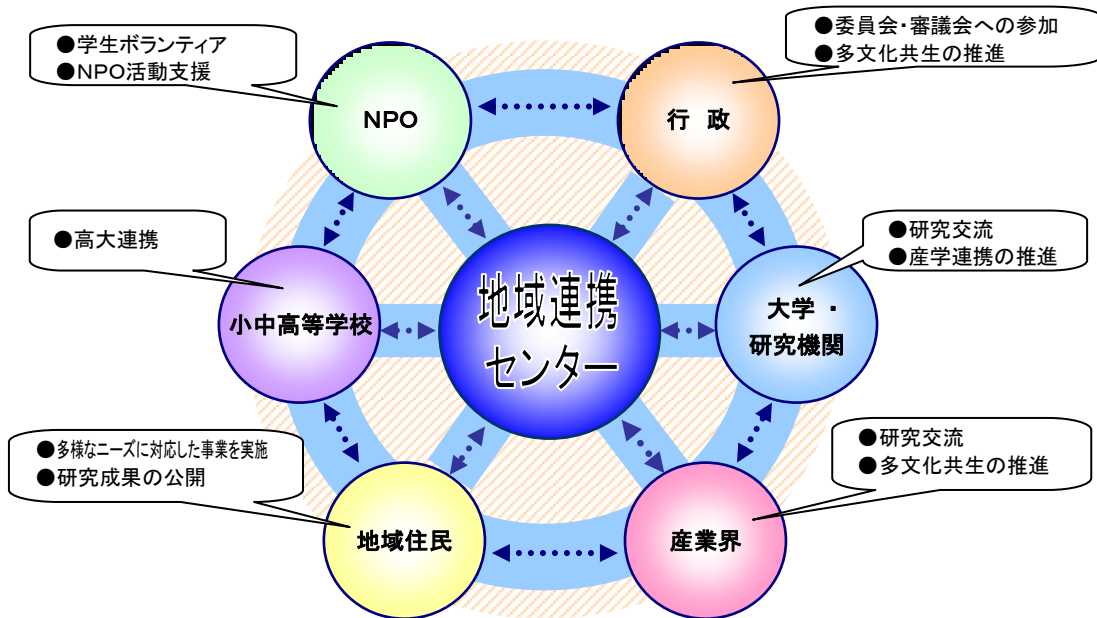
報 告 書 目 次

1	組織と運営	1
2	地域連携センター・公開講座企画運営委員会	2
3	地域連携センター活動状況	7
4	活動実績	9
	(1) センターが窓口となった講師派遣等	9
	(2) 学術講演会	11
	(3) 公開講座	12
	(4) OB教員による講座「県大アゲイン」	15
	(5) 研究会	17
	(6) 共催事業	20
	(7) 高大連携事業	22
	(8) 他大学調査	28
5	産学連携推進室	31
	(1) 活動実績	33
6	看護実践センター	35
	(1) 活動実績	36
7	東日本大震災復興支援ボランティア派遣	39
8	参考資料	47

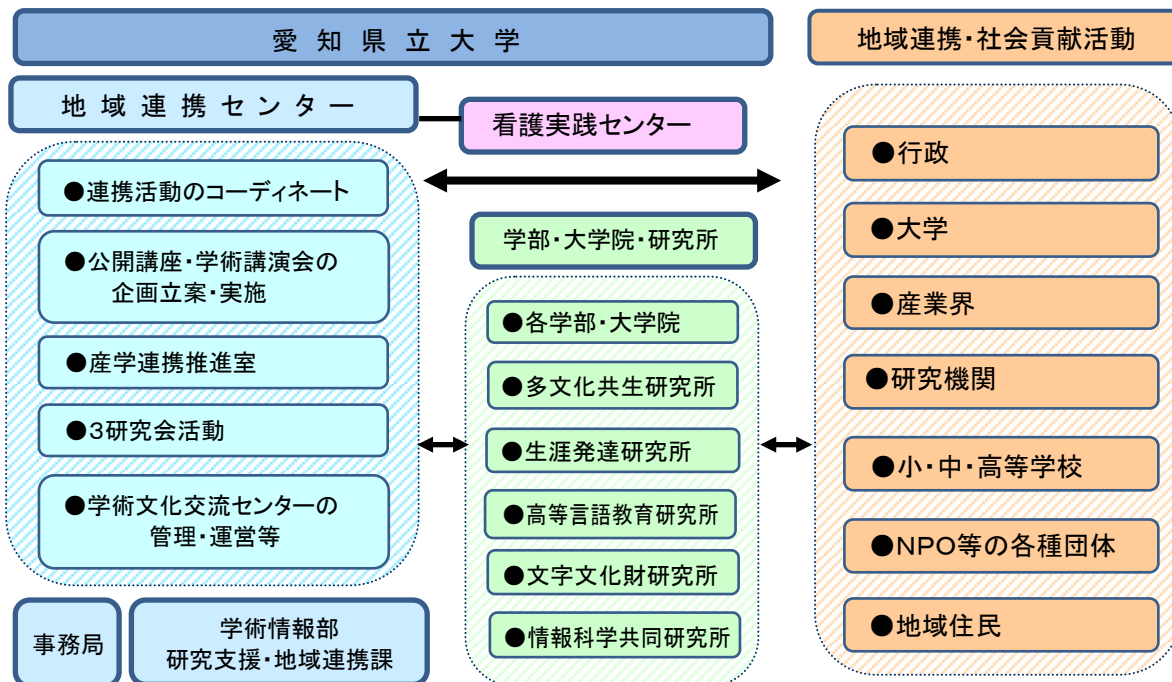
1. 組織と運営

地域連携センター紹介

○地域連携活動を推進する愛知県立大学の総合的な窓口として次のような業務を行っています。



○地域連携センターの位置づけ



2. 地域連携センター規程・公開講座企画運営委員会規程

愛知県立大学地域連携センター規程

(趣旨)

第1条 この規程は、愛知県立大学学則第6条の規定に基づき設置される地域連携センター(以下「センター」という。)の運営に関する基本的事項について定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、地域連携活動を円滑かつ組織的に推進することを目的とする。

(支部)

第3条 センターの支部として、守山キャンパスに看護実践センターを置く。

(業務)

第4条 センターは、その目的を達成するために、次に掲げる業務を行う。

- (1) 行政との連携に関すること。
- (2) 他大学・研究機関等との連携に関すること。
- (3) 産業界との連携に関すること。
- (4) 小・中・高等学校との連携に関すること。
- (5) NPO等各種団体との連携に関すること。
- (6) 学術講演会、公開講座の企画・立案・実施に関すること。
- (7) 学術文化交流センターの管理・運営に関すること。
- (8) その他センター長が適当と認めた業務

2 前項以外の業務に関する看護実践センターの運営に関しては、別に定める。

(センター長)

第5条 センターに、センター長を置く。

- 2 センター長は、学長の命を受け、センターの業務を掌理する。
- 3 センター長の任期は、2年とする。ただし、任期の途中でセンター長が交替した場合は、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 センター長に事故がある場合は、センター長が予め指名したセンター長補佐がセンター長の職務を代理する。

(看護実践センター長)

第6条 看護実践センターに、看護実践センター長を置く。

- 2 看護実践センター長は、センター長の命を受け、センターの業務を補佐する。
- 3 看護実践センター長の任期は、2年とする。ただし、任期の途中で看護実践センター長が交替した場合は、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター長補佐)

第7条 センターに、センター長補佐を置く。

- 2 センター長補佐は、センター長及び看護実践センター長の所属学部以外の学部から各1名を、学長がセンター長と協議の上指名する。

- 3 学長は、センターの運営に必要と判断した場合、センター長と協議の上、センター長及び看護実践センター長の所属学部からセンター長補佐を指名することができる。
- 4 センター長補佐は、センター長の命を受け、センター長の職務を補佐する。
- 5 センター長補佐の任期は、1年とする。ただし、任期の途中でセンター長補佐が交替した場合は、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター運営会議)

第8条 センターの業務を円滑に運営するため、センター運営会議を置く。

- 2 センター運営会議は次の者をもって組織し、議長はセンター長をもって充てる。

- (1) センター長
- (2) 看護実践センター長
- (3) センター長補佐
- (4) 学術情報部長

- 3 運営会議はセンター長が召集する。

(委員会)

第9条 第4条第6号の業務に係る重要な事項について審議するため、公開講座企画運営委員会を置く。

- 2 前項の委員会に関して必要な事項は、別に定める。

(産学連携推進室)

第10条 第4条第3号の規定による業務を推進するため、産学連携推進室(以下「推進室」という。)を置く。

- 2 前項の推進室に関して必要な事項は、別に定める。

(庶務)

第11条 センターの庶務は、研究支援・地域連携課で行う。

(補則)

第12条 この規程に定めるセンターの運営に関し必要な事項は、学長が定める。

附則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

地域連携センター運営会議名簿

所 属	平成23年度運営会議氏名
議長（地域連携センター長）	井手口 哲 夫
看護実践センター長	山 口 桂 子
地域連携センター長補佐	原 潮 巳
地域連携センター長補佐	上 川 通 夫
地域連携センター長補佐	藤 田 博 仁
学術情報部長	春日井 隆 司

地域連携センター庶務

所 属	氏 名
研究支援・地域連携課主査	伊 藤 祐 司
研究支援・地域連携課	林 勇 吾

愛知県立大学公開講座企画運営委員会規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、地域連携センター（以下「センター」という。）に設置する公開講座企画運営委員会（以下「委員会」という。）について、地域連携センター規程第8条第2項の規定に基づき、必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 公開講座の企画・立案・実施に関すること
- (2) 学術講演会の企画・立案・実施に関すること
- (3) その他公開講座及び学術講演会に関すること

(組 織)

第3条 委員会は、次の委員をもって組織する。

- (1) 地域連携センター長
 - (2) 看護実践センター長
 - (3) 地域連携センター長補佐
 - (4) 各学部及び各大学院研究科から選出された者（学部・研究科の双方を兼ねる。） 各1名
 - (5) 地域連携センター長が指名する事務職員
- 2 委員会に、委員長を置き、地域連携センター長をもって充てる。
 - 3 委員の任期は、1年とする。

(会議及び運営)

第4条 委員長は、会議を招集し、その議長となる。

- 2 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代理する。
- 3 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。
- 4 会議の議事は、出席者の過半数の同意をもって決することとし、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を認めることができる。

(庶 務)

第6条 委員会の庶務は、研究支援・地域連携課が担当する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

公開講座企画運営委員会委員名簿

所 属	平成23年度委員氏名
委員長（地域連携センター長）	井手口 哲 夫
看護実践センター長	山 口 桂 子
地域連携センター長補佐	原 潮 巳
地域連携センター長補佐	上 川 通 夫
地域連携センター長補佐	藤 田 博 仁
外国語学部選出	加 藤 史 朗
日本文化学部選出	川 畑 博 昭
教育福祉学部選出	松 宮 朝
看護学部選出	古 田 加代子
情報科学部選出	田 学 軍
事務職員	伊 藤 祐 司
事務職員	林 勇 吾

3.地域連携センター活動状況

日時	運営会議・委員会等	行事・活動	
4月	13日	第1回センター運営会議・産学連携推進室運営会議	
	27日	第1回公開講座企画運営委員会	
5月	11日	第2回センター運営会議・産学連携推進室運営会議	
6月	8日	第3回センター運営会議・産学連携推進室運営会議	
	12日		OB教員による講座「県大アゲイン」(第1回)
	20日		県と大学の意見交換会
	26日		OB教員による講座「県大アゲイン」(第2回)
	30日	第1回震災復興支援委員会	
7月	6日		東日本大震災復興支援ボランティア講演会
	10日		OB教員による講座「県大アゲイン」(第3回)
	13日	第4回センター運営会議・産学連携推進室運営会議	
	17日		OB教員による講座「県大アゲイン」(第4回)
	20日	第2回震災復興支援委員会	
	24日		OB教員による講座「県大アゲイン」(第5回)
	27日	第2回公開講座企画運営委員会	
8月	8日 ～11日		「知の探究講座」(前期)
	24日 ～30日		東日本大震災復興支援ボランティア
9月	7日	第5回センター運営会議・産学連携推進室運営会議	
	14日 ～20日		東日本大震災復興支援ボランティア
	28日	第3回震災復興支援委員会	
10月	5日	第3回公開講座企画運営委員会	
	12日	第6回センター運営会議・産学連携推進室運営会議	
	15日		人と自然の共生国際フォーラム
	21日		「あいち地域づくり連携大学」(第1回)
	22日		「知の探究講座」(後期)
	26日		東日本大震災復興支援ボランティア報告会
	28日		文理連携研究会
	29日		「知の探究講座」(後期)
	31日		学術講演会
11月	5日		「知の探究講座」(後期)
	6日		公開講座(第1回)
	9日	第7回センター運営会議・産学連携推進室運営会議	
	11日		「あいち地域づくり連携大学」(第2回)
	12日		「知の探究講座」(後期)
			公開講座(第2回)
	14日		第1回公共政策研究会
	26日		公開講座(第3回)
30日	第8回センター運営会議・産学連携推進室運営会議		

日時	運営会議・委員会等	行事・活動
12月	1日	「あいち地域づくり連携大学」(第3回)
	3日	公開講座(第4回)
	7日	第9回センター運営会議・産学連携推進室運営会議
	10日	公開講座(第5回)
	14日	「あいち地域づくり連携大学」(第4回)
	17日	公開講座(第6回)
	21日	第4回公開講座企画運営委員会
1月	11日	第10回センター運営会議・産学連携推進室運営会議
	18日	第2回公共政策研究会
	28日	「知の探究講座」全体発表会
2月	3日	「愛知県地域づくり研修交流会」
	10日	第11回センター運営会議・産学連携推進室運営会議
	14日	知的財産セミナー
	22日	第5回公開講座企画運営委員会
3月	3日	高校生向け講座(第1回)
	5日 ~9日	瀬戸商工会議所パソコン講習会
	7日	第12回センター運営会議・産学連携推進室運営会議
	10日	高校生向け講座(第2回)
	19日	第4回震災復興支援委員会

4. 活動実績

【センターが窓口となった講師派遣等】

○春日井市

春日井市生涯学習課からの依頼により、「かすがい熟年大学」へ講師の派遣を行った。

加藤史朗教授(外国語学部国際関係学科)

「仏教とユーラシア主義①」(6月22日)、「仏教とユーラシア主義②」(7月6日)

上川通夫教授(日本文化学部歴史文化学科)

「日本中世社会の実像①」(8月31日)、「日本中世社会の実像②」(9月14日)

○長久手町

長久手町教育委員会生涯学習課からの依頼により、「愛知県立大学連携講座(公民館講座)」へ講師の派遣を行った。(23年12月10日、17日)

今野元准教授(外国語学部ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻)

「愛知郡長久手町の伝統文化 ～警固祭を中心とした風俗と芸能の概観～」

○朝日カルチャーセンター

愛知県立大学では、大学での教育研究の成果を県民や社会に対して還元するとともに、高度な要望や知的欲求など県民の多様なニーズに対応するため、朝日カルチャーセンターと提携講座を開催している。

〈平成23年度提携講座〉

4月～6月

久富木原玲教授(日本文化学部国語国文学科)

「源氏物語の謎」

伊里松俊教授(外国語学部英米学科)

「アイルランド短編小説の魅力」

日置雅子名誉教授

「ドイツ宗教改革とその時代①」

7月～9月

中根千絵准教授(日本文化学部国語国文学科)

「文学に残る名僧伝」

久富木原玲教授(日本文化学部国語国文学科)

「源氏物語の謎」

阿南東也准教授(外国語学部英米学科)

「どうなる？21世紀のアメリカの政治外交」

伊里松俊教授(外国語学部英米学科)

「アイルランド短編小説の魅力」

長沼圭一准教授(外国語学部ヨーロッパ学科フランス語圏専攻)

「楽しく話そう フランス語会話入門」

10月～12月

久富木原玲教授(日本文化学部国語国文学科)

「源氏物語の謎」

伊里松俊教授(外国語学部英米学科)

「アイルランド短編小説の魅力」

長沼圭一准教授(外国語学部ヨーロッパ学科フランス語圏専攻)

「楽しく話そう フランス語会話入門」

山村亜希准教授(日本文化学部歴史文化学科)

「歴史地理学を楽しもう 景観から歴史を読む」

鈴木隆講師(外国語学部中国学科)ほか

「中国は何処に行く？」

日置雅子名誉教授

「ドイツ宗教改革とその時代②」

2012年1月～3月

山村亜希准教授(日本文化学部歴史文化学科)	「歴史地理学を楽しもう 景観から歴史を読む」
久富木原玲教授(日本文化学部国語国文学科)	「源氏物語の謎」
伊里松俊教授(外国語学部英米学科)	「アイルランド短編小説の魅力」
阿南東也准教授(外国語学部英米学科)	「アメリカ大統領選のニュースをどう読むか」

○その他地域連携コーディネート及び地域連携事業

- ・名古屋国際センター（共催事業検討）
- ・名古屋都市センター（共催事業検討）
- ・流行発信（主催事業への参加呼びかけ）
- ・岩手県立大学（学生ボランティア派遣）
- ・名古屋市立大学とのサテライトキャンパスの活用、中期計画に関する情報交換（2回）
- ・科学技術交流財団（知の拠点連携打合せ）
- ・愛知県陶磁資料館（独自制度への参加呼びかけ）
- ・名古屋市生涯学習センター（共催事業検討）
- ・愛知県生涯学習推進センター（共催事業検討）
- ・日本弁理士会東海支部（知財セミナー）
- ・愛知県教育委員会（高大連携事業）
- ・豊田市役所（共催事業検討）
- ・JICA（研究会の呼びかけ）
- ・SMBC パーク栄（共催事業検討）
- ・長久手市「長久手ウォッチング」の共同事業
- ・日進市「日進ウォッチング」の共同事業
- ・長久手市と「愛知・長久手学」の共催事業（3回）
- ・五大学学長懇談会の開催（4回）
- ・愛知学院大学、名古屋商科大学との地域連携事業（日進・長久手ウォッチング）
- ・五大学合同キャリア教育インターンシップ事業（2回）
- ・長久手市との包括締結準備作業

平成23年度 学 術 講 演 会 実 施 結 果

1. 講 演 名 「世界史教育の日米比較 ―歴史的思考をどう育てるか―」
2. 開催日時 平成23年10月31日（月）12時50分～14時20分
(本学教員3名とのシンポジウム：14時30分～16時00分)
3. 会 場 講堂
4. 講 師 油井大三郎氏（東京女子大学教授）
5. 聴講者数 約400名（一般：約80名、学生・教職員：約320名）
6. 会場の様子

【講演する油井大三郎氏】



【シンポジウムの様子】



【会場全景】



平成23年度 公開講座 実施結果

1. 講座名 「世界史へのまなざし」 (教員免許状更新講習の選択科目として実施)
2. 開催日時 第1回: 11月 5日 (土) 第2回: 11月12日 (土)
第3回: 11月26日 (土) 第4回: 12月 3日 (土)
第5回: 12月10日 (土) 第6回: 12月17日 (土)
3. 会場 特別講義棟S101、H005教室、学術文化交流センター多目的ホール
4. 受講申込者 103名 (修了証授与者(4回以上出席者) 54名)
5. 講座内容・講師名

○第1回 受講者数 70名(教員免許状更新講習4名含む)

テーマ	講師
両大戦とアイルランド	福岡 千珠 (外国語学部国際関係学科)
科学史とイギリス史が交差する点 -ニュートンの錬金術を例に-	大野 誠 (外国語学部英米学科)



○第2回 受講者数 55名

テーマ	講師
母性の時代の母親像 -18・19世紀フランスの歴史と文学から	天野 知恵子 (外国語学部ヨーロッパ学科フランス語圏専攻)
アメリカ独立革命とジェンダー -2つの茶会事件を中心に	久田 由佳子 (外国語学部英米学科)



○第3回 受講者数 60名(教員免許状更新講習3名含む)

テーマ	講師
君府(コンスタンティノープル)から費府(フィラデルフィア)へ —大西洋革命とフランス公債—	伊藤 滋夫 (外国語学部ヨーロッパ学科フランス語圏専攻)
世界史のなかのカタルーニャの工業化 —バルセローナ、ヨーロッパ最大の捺染織物産地?—	奥野 良知 (外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻)



○第4回 受講者数 50名(教員免許状更新講習4名含む)

テーマ	講師
近世ドイツの領邦国家におけるポリツァイ	池田 利昭 (外国語学部ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻)
近現代ドイツ・ナショナリズムの「機能」変容 —「右の」ナショナリズムと「左の」ナショナリズム	今野 元 (外国語学部ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻)



○第5回 受講者数 58名

テーマ	講師
世界史のなかの明治維新:西洋化から「中国化」へ?	與那覇 潤 (日本文化学部歴史文化学科)
世界史のなかの「国風文化」	上川 通夫 (日本文化学部歴史文化学科)



○第6回 受講者数65名(教員免許状更新講習11名含む)

テーマ	講師
世界史から見た「ユーラシア国家ロシア」の成立	加藤 史朗 (外国語学部国際関係学科)
教科書にみる日本と中国の世界史教育	黄 東蘭 (外国語学部中国学科)

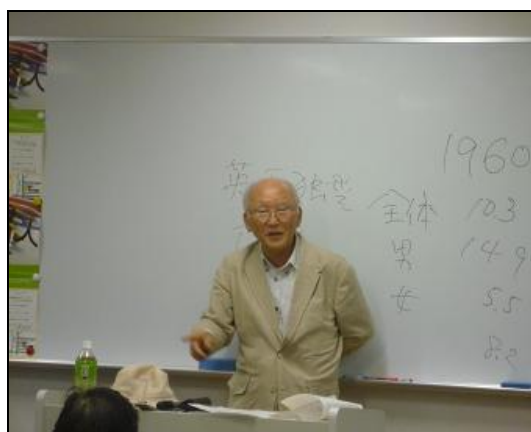


OB教員による講座「県大アゲイン」実施結果

1. 講座名 「もう一度ヨーロッパの歴史と文化に学ぶ」
2. 日時 第1回：6月12日(日) 第2回：6月26日(日)
第3回：7月10日(日) 第4回：7月17日(日)
第5回：7月24日(日) (すべて10時30分～12時00分)
3. 会場 県立大学サテライトキャンパス (名古屋市中村区名駅 ウィンクあいち15階)
4. 受講許可者 71名 (定員60名) (受講申込者99名) 修了証授与者 52名
5. 講座内容・講師名

○第1回 : 受講者数 56名

テーマ	講師
<体制再編の時代>におけるイギリスと日本の政治	吉瀬 征輔(外国語学部英米学科) 昭和46年4月～平成17年3月在職



○第2回 : 受講者数 47名

テーマ	講師
ドイツにおける魔女狩り	日置 雅子(外国語学部ドイツ学科) 昭和47年11月～平成22年3月在職



○第3回 : 受講者数 45名

テーマ	講師
詩人ハイネとドイツ文学	可知 正孝(外国語学部ドイツ学科) 昭和44年4月～平成15年3月在職



○第4回 : 受講者数 40名

テーマ	講師
虹と音階とスペイン語と	布施 温(外国語学部スペイン学科) 昭和45年4月～平成19年3月在職



○第5回 : 受講者数 40名

テーマ	講師
小説における「語り」について - 19世紀小説の特徴	早水 洋太郎(外国語学部フランス学科) 昭和48年4月～平成18年3月在職



第1回文理連携研究会 実施結果

1. 開催日時 平成23年10月28日（金）12時50分～14時30分
2. 会場 S棟201教室
3. 参加者数 約210名
4. 講師 Prof. Dr. Franz Waldenberger（フランツ・ヴァルデンヴェルガー）氏
（ミュンヘン大学教授）
5. タイトル 「The impact of the internet on society – pluralism and social cohesion –」
（社会におけるインターネットの影響 – 多元主義と社会的一体性 –）
6. 進行 小栗宏次 情報科学部教授

【当日の写真】



第1回公共政策研究会実施結果

1. 開催日時 平成23年11月14日（月）14時30分～16時00分
2. 会場 講堂
3. 参加者数 411名（本学学生）
4. タイトル 「JICA ボランティアセミナー ～国際協力というシゴト～」
5. プログラム ①JICA ボランティア事業概要説明
<講師>山口恭平氏（青年海外協力協会中部支部ボランティア事業担当）
2008年、青年海外協力隊としてインドネシア共和国に赴任。
②青年海外協力隊 OG 講演
<講師>山本智恵氏（JICA 中部なごや地球ひろば勤務）
2006年、青年海外協力隊としてマラウイ共和国へ赴任。
6. 進行 亀井伸孝 外国語学部国際関係学科准教授

【当日の写真】



第2回公共政策研究会 実施結果

1. 開催日時 平成24年1月18日（水）10時30分～12時00分
2. 会場 H202教室
3. 参加者数 56名（学生・一般）
4. 講師 梁英姫氏（映画監督）
5. タイトル 「ドキュメンタリー映画『ディアピョンアン』の監督・梁英姫(やんよんひ)さんをむかえて」
6. 進行 山本かほり 教育福祉学部社会福祉学科准教授

【当日の写真】



「あいち地域づくり連携大学」実施結果
(愛知県地域振興部との共催)

1. 開催日及び主な内容

	開催日	内容
第1回	10月21日(金)	【導入・ガイダンス】 参加者の関係づくり、問題意識の共有
第2回	11月11日(金)	【現地視察】 森の里荘自治会(名古屋市緑区)の取り組み
第3回	12月 1日(木)	【事例研究】 岐阜県金華町の取り組み
第4回	12月14日(水)	【振り返りとまとめ】 参加者同士の意見交換 ----- 修了式 (県地域振興部地域政策課長・藤田地域連携センター長補佐)

2. 会 場 第1・3・4回：サテライトキャンパス 第2回： 現地視察(名古屋市緑区)

3. 参加者数 延べ58名(修了証授与者(3回以上出席者) 13名・1団体)

4. 事業の様子

【第1回】



【第2回】



【第3回】



【第4回】



「平成23年度愛知県地域づくり研修交流会」実施結果 (愛知県地域振興部との共催)

1. 開催日 平成24年2月3日(金) 14:30~17:00
2. 会場 学術文化交流センター多目的ホール
3. 参加者 121名
4. 研修交流会 ①平成23年度愛知県地域づくり活動表彰式及び事例発表
「島を美しくつくる会」、「中心市街地都心交流エリアワークショップ」
③講演「みんなが輝く地域づくり ~高校生レストランの奇跡から学ぶ~」
岸川政之氏(三重県多気町まちの宝創造特命監)
5. 会場の様子

【開会あいさつ(県地域振興部長)】



【活動表彰式】



【事例発表】



【岸川氏講演】



**平成 23 年度「知の探究講座」(県教委事業) 実施結果
(高大連携事業、教育福祉学部公開講座)**

1. 講座名 **「人の心を知る」**
2. 日 時 (前期) 平成 23 年 8 月 8 日 (月) ～8 月 11 日 (木) の 4 日間
 (後期) 平成 23 年 10 月 22 日(土)、29 日(土)、11 月 5 日(土)、12 日(土)の 4 日間
3. 会 場 県立大学長久手キャンパス
4. 参加者 45 名 (県立高校 1 ～ 2 年生)
5. 講座内容・講師名

(前期)

○8月8日(月) :参加者42名(学校行事のため3名欠席)

講座内容	会場	担当教員
①ガイダンス	小ホール	松宮 朝
②社会調査からとらえる人の心	H204	松宮 朝



○8月9日(火) :参加者44名(体調不良ため1名欠席)

講座内容	会場	担当教員
③心理テストや描画から	B107	祖父江典人
④障がい体験から「コミュニケーション」を知る	H004	吉川雅博



○8月10日(水) :参加者45名

講座内容	会場	担当教員
⑤福祉と人の心	H004	木幡洋子
⑥音楽と人の心	H004	高橋範行



○8月11日(木) :参加者44名(体調不良ため1名欠席)

講座内容	会場	担当教員
⑦人の健康と心	体育館	湯 海鵬
⑧発達障害の人たちの思い	H202	田中良三



(後期)

○10月22日(土) :参加者42名(3名欠席)

講座内容	会場	担当教員
⑨面接を体験してみよう	小ホール	佐野 治
⑩心と社会と歴史	小ホール	橋本 明



○10月29日(土) :参加者37名(8名欠席)

講座内容	会場	担当教員
⑪心理学からとらえる人の心	G002	中藤 淳
⑫ソーシャルワークと人の心	H005	須藤八千代



○11月5日(土) :参加者41名(4名欠席)

講座内容	会場	担当教員
⑬フィールドワークからさぐる	H204	松宮 朝
⑭おみくじと人の心	H004	大野 出



○11月12日(土) :参加者43名(2名欠席)

講座内容	会場	担当教員
⑮報告に向けてのまとめと作業	H204	松宮 朝
⑯講座別発表会	H005	



高大連携事業「高校生のための講座」実施結果

1. 講座名 「ことば、文化、社会…外国を知る」
2. 日時 第1回：3月3日(土) 第2回：3月10日(土) 10時～12時
3. 会場 県立大学サテライトキャンパス (名古屋市中村区名駅 ウィンクあいち15階)
4. 申込者 35名 (県立高校11校)
5. 講座内容・講師名

○第1回 : 受講者数 34名(このほか現職高校教員3名)

テーマ	講師
日本におけるフランス文化、フランスにおける日本文化	原 潮巳 (外国語学部ヨーロッパ学科フランス語圏専攻)
古代アンデス文明とその末裔・先住民族の今	稲村 哲也 (外国語学部国際関係学科)



○第2回 : 受講者数 34名(このほか現職高校教員4名、県教委2名)

テーマ	講師
英語の昔に目を向けてみよう	石原 覚 (外国語学部英米学科)
21世紀は中国の時代か？中国語は世界中で話されている？ 中国語と英語、どこが違う？	川尻 文彦 (外国語学部中国学科)



平成 23 年度地域連携センター事例調査 調査項目

○大学の地域連携事業について

- ・ 中期計画の見直しについて、どの程度進んでいますか。
- ・ 貴学が力を入れている地域連携事業は何ですか。(あれば複数)
- ・ 貴学で新しく取り組んでいる、または計画している事業はありますか。
- ・ 高大連携については、どのような取り組みを行っていますか。
- ・ 大学が行政のシンクタンクの機能を持つという事について、どのように考えていますか。

○公開講座・学術講演会について

- ・ 学内の講座・講演会などについて、情報の集約やPRをどのように行っていますか。
- ・ 学内および学外講師の謝礼について、どのような基準を持っていますか。
- ・ 公開講座等の受講料の算出方法について、どのような基準を持っていますか。
- ・ 講座・講演会の記録方法や、インターネットなどを使ったアーカイブ化について、現在どのように行っていますか。また、将来的にはどうですか。

○産学連携について

- ・ 近年（数年間）の産学連携の取り組みや実績について。
- ・ 産学連携の学内組織（教員および事務）はどのようになっていますか。
- ・ 文系学部の産学連携について、どのように考えていますか。

○調査対象大学及び調査実施日

大学名	対応部署	実施日
岩手県立大学	地域連携本部	23.9.1
国際教養大学	企画課地域交流チーム	23.9.2
都留文科大学	地域交流研究センター	23.9.8
山梨県立大学	地域研究交流センター	23.9.9
滋賀県立大学	地域貢献研究推進グループ	23.8.25
大阪府立大学	地域連携室地域貢献グループ	23.8.26
山口県立大学	付属地域共生センター	23.9.8
北九州市立大学	総務課地域貢献担当	23.9.9

5 産学連携推進室

愛知県立大学産学連携推進室要綱

(趣旨)

第1 この要綱は、愛知県立大学地域連携センター規程第10条第2項に基づき、地域連携センター（以下「センター」という。）に設置する産学連携推進室（以下「推進室」という。）について、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2 推進室は、産学連携活動を円滑かつ組織的に推進することを目的とする。

(業務)

第3 推進室は、その目的を達成するために、次に掲げる業務を行う。

- (1) 産学連携を推進する事業の企画・実施及び広報
- (2) 共同研究等の窓口業務
- (3) 知的財産に関する支援業務
- (4) その他室長が必要と認める業務

(組織)

第4 推進室は、次の者をもって組織する。

- (1) 室長
- (2) 地域連携センター長
- (3) 地域連携センター長補佐
- (4) 情報科学部選出教員
- (5) 室長が指名する事務職員
- (6) その他室長が必要と認めた者

2 室長は、地域連携センター長が前項第2号から第4号に掲げる者の中から指名する。

(顧問)

第5 推進室に、顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、産学連携に高い見識を有する学外者の中から地域連携センター長が委嘱する。
- 3 顧問は、推進室の活動に対して助言を行うとともに、学外の機関等との渉外にあたる。
- 4 顧問の任期は、1年とし、再任を妨げない。

(庶務)

第6 推進室の庶務は、庶務課の協力を得て研究支援・地域連携課が担当する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

産学連携推進室運営会議名簿

所 属	平成23年度運営会議氏名
室長（情報科学部選出）	小 栗 宏 次
地域連携センター長	井手口 哲 夫
地域連携センター長補佐	原 潮 巳
地域連携センター長補佐	上 川 通 夫
地域連携センター長補佐	藤 田 博 仁
看護実践センター長	山 口 桂 子
事務職員（学術情報部長）	春日井 隆 司
事務職員（研究支援・地域連携課主査）	伊 藤 祐 司
事務職員（研究支援・地域連携課）	林 勇 吾

知的財産セミナー実施結果

(協力:日本弁理士会東海支部)

1. 開催日時 平成24年2月14日(火) 13時00分～14時30分
2. 会場 情報科学部棟C102会議室
3. 参加者数 32名(教職員・学生・院生)
4. セミナータイトル 「インターネットと特許権、著作権
～ウェブデザイン、コンピュータソフトウェアの保護について」
5. 講師 弁理士・弁護士 加藤光宏氏(特許法律事務所樹樹)
6. 会場の様子



瀬戸商工会議所パソコン講習会実施結果 (瀬戸商工会議所との共催)

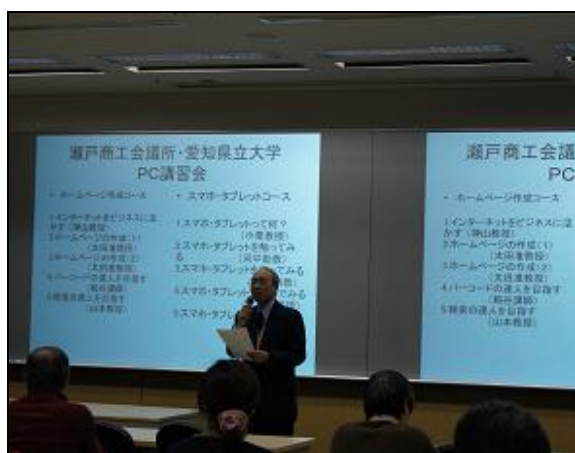
1. 開催日時 平成24年3月5日(月)～9日(金) 18時30分～20時30分
2. 会場 情報科学部棟コンピュータ演習室等
3. 参加者 瀬戸市内の小規模事業者31名
4. 目的 小規模事業者のレベルアップを図るため、パソコン講習会を実施
5. 講師及び内容

ホームページ作成コース 14名			
3月5日	インターネットをビジネスに活かす	神山 斉己	教授
3月6日	ホームページの作成(1)	太田 淳	准教授
3月7日	ホームページの作成(2)	太田 淳	准教授
3月8日	バーコードの達人を目指す	粕谷 英人	講師
3月9日	検索の達人を目指す	山本 晋一郎	教授

スマホ・タブレットコース 17名			
3月5日	スマホ・タブレットって何?	小栗 宏次	教授
3月6日	スマホ・タブレットを触ってみる	代田 健二	准教授
3月7日	スマホ・タブレットを使ってみる	河中 治樹	助教
3月8日	スマホ・タブレットを遊んでみる	河中 治樹	助教
3月9日	スマホ・タブレットを活用する	代田 健二	准教授

6. 会場の様子

【開講式】



【講習風景】



6. 看護実践センター

愛知県立大学看護実践センター規程

(趣旨)

第1条 この規程は、愛知県立大学地域連携センター（以下「地域連携センター」という。）規程に定めるもののほか、愛知県立大学看護実践センター（以下「実践センター」という。）の運営に関する基本的事項について定めるものとする。

(目的)

第2条 実践センターは、看護職を対象に看護継続教育、研究指導、情報発信等を行うことにより、この地域における看護実践水準の向上を図るとともに、看護を通じた地域連携・地域貢献を推進することを目的とする。

(業務)

第3条 実践センターは、その目的を達成するために、地域連携センター規程第4条に定めるもののほか、次に掲げる業務を行う。

- (1) 認定看護師教育課程に関すること
- (2) 看護職を対象とした教育、研究指導及び情報発信に関すること
- (3) その他看護実践センター長が適当と認めた業務

(看護実践センター長)

第4条 第3条各号に定める業務については、看護学部長の命を受け、実践センター長が掌理する。

(看護実践センター長補佐)

第6条 実践センターに、実践センター長補佐を置くことができる。

- 2 実践センター長補佐は、看護学部から2名以内を、看護学部長が実践センター長と協議の上指名する。
- 3 実践センター長補佐は、実践センター長の命を受け、実践センター長の職務を補佐する。
- 4 実践センター長補佐の任期は1年とする。ただし、任期の途中で実践センター長補佐が交替した場合は、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員会)

第7条 第3条に掲げる業務に係る重要な事項について審議するため、次の委員会を置く。

- (1) 認定看護師教育課程教員会
 - (2) 認定看護師教育課程入試委員会
 - (3) 看護職教育・研究支援委員会
- 2 前項の委員会に関して必要な事項は、別に定める。

(事務)

第8条 実践センターの事務は、守山キャンパス部学務課で行う。

(補則)

第9条 この規程に定めるほか、実践センターの運営に関し必要な事項は、学長が定める。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

**H23年度 看護実践センター
看護職教育・研究支援事業：各種セミナー（実績）**

開催日	講座名	定員	開催日 受講人数
平成23年5月27日	看護研究スキルアップ講座① 「看護研究の基礎」 講師：岩瀬信夫教授 「研究のための統計入門」 講師：岡本和士教授	150名	108名
平成23年6月24日	看護研究スキルアップ講座② 「臨床看護研究における倫理と手続き」 講師：片岡 純教授 「質的研究におけるデータ分析」 講師：儘田 徹教授	150名	98名
第1回 平成23年8月20日 平成23年8月21日	精神看護CNSフォローアップセミナー 講師：遊佐 安一郎先生	30名	19名
第2回 平成23年9月10日 平成23年9月11日		30名	22名
第3回 平成23年11月5日 平成23年11月6日		30名	15名
平成23年9月6日	摂食・嚥下フィジカルアセスメントセミナー 講師：鎌倉やよい教授	60名	44名
平成23年9月16日	看護コミュニケーションセミナー 講師：中川一郎先生	100名	52名
平成23年9月～ 平成24年3月まで	看護研究個別指導	10名	6名
平成23年11月4日 5日	がん性疼痛看護フォローアップセミナー (4日)事例検討会 講師：山崎祥子先生・松野英美先生 堀部恭子先生	70名	62名
	がん性疼痛看護フォローアップセミナー (5日)ストレスマネジメント 講師：五十嵐透子先生	70名	62名
平成24年2月26日	認定看護管理者フォローアップセミナー 講師：吉田二美子先生	-	66名
平成24年3月2日 3日	がん化療看護フォローアップセミナー (2日)「発熱性好中球減少症のガイドライン」 講師：齋藤 博先生	113名	86名
	がん化療看護フォローアップセミナー (3日)「医療安全管理」 講師：森田恵美子先生	113名	91名
平成24年3月3日	がん看護・家族・老年CNSフォローアップセミナー 講師：水野節子先生 杉山郁子先生	20名	11名
合計			742名

H23年度 看護実践センター もりっこやまっこ事業

		新規参加者(組)数	再来参加者(組)数	合計	内容
1	5月12日	46		46	自由ひろば
2	5月26日	26	21	47	自由ひろば・もりっこやまっこサロン(院生企画)
3	6月2日	21	29	50	自由ひろば・もりっこやまっこサロン(院生企画)
4	6月16日	29	29	58	自由ひろば
5	6月23日	26	48	74	自由ひろば
6	7月7日	30	37	67	自由ひろば
7	7月14日	22	45	67	自由ひろば
8	7月28日	28	44	72	自由ひろば・もりっこやまっこサロン(パネルシアター)
9	9月29日	26	61	87	自由ひろば
10	10月27日	27	69	96	自由ひろば・もりっこやまっこサロン(赤ちゃんヨガ)
11	11月24日	20	65	85	自由ひろば・もりっこやまっこサロン(親子で楽しむ体操)
12	12月22日	11	41	52	自由ひろば・もりっこやまっこサロン(パネルシアター)
13	1月26日	16	33	49	自由ひろば
14	2月23日	13	40	53	自由ひろば・もりっこやまっこサロン(ベビーサイン体験教室)
	計	341		903	

7. 東日本大震災復興支援ボランティア派遣

愛知県立大学及び愛知県立芸術大学の学生が 「いわて GINGA-NET プロジェクト」に参加しました。

【いわて GINGA-NET プロジェクトとは】

3月11日に発生した東日本大震災による未曾有の被害に対し、力になりたいという学生も数多くおり、また、大学等も夏季休暇に向けて、学生の活動を応援しようという機運が高まるなか、被災地の要支援ニーズと学生のボランティアニーズを効果的に結びつけるために岩手県立大学学生ボランティアセンター、NPO 法人ユースビジョン及び NPO 法人さくらネットにより、「いわて GINGA-NET プロジェクト」は結成されました。

具体的には、7月から9月の夏休み期間をそれぞれ6泊7日の9期に分け、岩手県南部沿岸地域にアクセスのよい住田町を宿泊拠点として、仮設住宅でのサロン活動を中心としたボランティア活動に取組みました。

「いわて GINGA-NET プロジェクト」公式ホームページ (<http://www.iwateginga.net/>)

【本学学生の活動期間及び参加者】

第5期：平成23年8月24日(水)～30日(火) 参加学生 20名

〈参加学生内訳〉

性別：男子 5名、女子 15名

学年別：1年生 3名、2年生 10名、3年生 2名、4年生 5名

引率教員：代田健二（情報科学部准教授）

同行職員：秋田真理（学務部学務課）

第8期：平成23年9月14日(水)～20日(火) 参加学生 57名

〈参加学生内訳〉

性別：男子 17名、女子 40名

学年別：1年生 2名、2年生 9名、3年生 18名、4年生 23名、院生 5名

引率教員：佐野 治（教育福祉学部准教授）

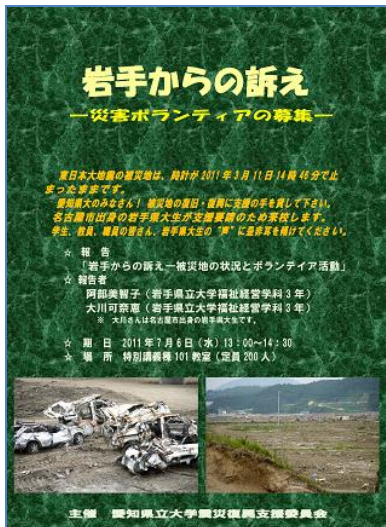
同行職員：ロベル智子（学務部学生支援・国際連携課）、川島香織（学務部学務課）

【活動場所】岩手県大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市、住田町ほか

【活動内容】仮設住宅でのサロン活動、子ども向けの学習支援、遊び支援、お祭り等地域行事の開催支援等

〈平成 23 年 7 月 6 日(水)〉

このプロジェクトの学生募集に先立ち、岩手県立大学学生ボランティアセンターから 2 名の学生を招き、「岩手からの訴えー被災地の状況とボランティア活動ー」の講演会を開催しました。



(学内掲示用ポスター)



(佐々木学長と岩手県大の学生さん)

〈平成 23 年 7 月 11 日(月)~20 日(水)〉

講演会のあと、学生ボランティアの参加募集を行ったところ 102 名 (芸大含む) の参加申し込みがありました。



(学内募集用ポスター)

〈平成 23 年 7 月 27 日(水)〉

参加希望者に対し、学内で事前説明会を行いました。

最終的に第 5 期 20 名、第 8 期 57 名の学生が活動に参加することになりました。

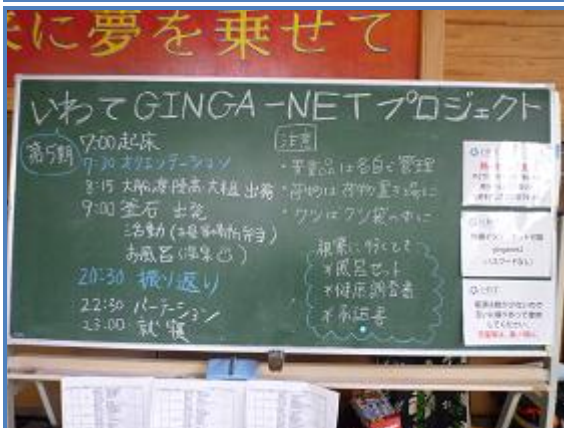


〈平成 23 年 8 月 24 日(水)〉

多くの教職員に見送られ、第 5 期に参加する学生 20 名が出発しました。



[現地での活動の様子]





〈平成 23 年 8 月 30 日(火)〉

午前 11 時。学生が元気に県大長久手キャンパスに到着しました。



〈平成 23 年 9 月 14 日(水)〉

第 8 期に参加する学生 57 名が出発しました。



[現地での活動の様子]





〈平成 23 年 9 月 20 日(火)〉

正午頃、台風接近に伴う大雨のなか、学生が県大長久手キャンパスに到着しました。



〈平成 23 年 10 月 26 日(水)〉

第 5 期・第 8 期に参加した学生を中心に報告会を開催しました。

当日は岩手県立大学からも 3 名の学生を招き、約 140 名(学生・教職員、一般)の参加者のなか、第 1 部では「復興支援ボランティア体験報告 ー愛知県大生・岩手県大生ー」を行い、第 2 部では「災害復興と大学、学生の役割」について話し合いました。

【佐々木学長と岩手県大生 (学長を挟んで右から3人)】



【学長の挨拶】



【藤田震災復興支援委員長の挨拶】



【第 1 部：岩手県大生からの報告】



【第 1 部：愛知県大生の報告】




【第 2 部：パネルディスカッション】



8. 参考資料

○ポスター・チラシ

【学術講演会ポスター】



愛知県立大学

愛知県立大学 平成23年度学術講演会・公開講座

世界史へのまなざし



学術講演会 申込必要

10月31日 12:50～14:20 愛知県立大学 長久手キャンパス講堂
(14:30～16:00 油井大三郎氏と本学教員3名によるシンポジウム)

講師 油井大三郎 東京女子大学教授
「世界史教育の日米比較 ―歴史的思考をどう育てるか―」

- 会場 長久手キャンパス講堂
- 参加費 無料
- 定員 400名(先着順)

●申込方法/住所はがきまたはEメールに「住所、氏名(ふりがな)、電話番号、公開講座希望」をご記入の上、下記申込先へお送り頂くか、QRコードの携帯サイトからお申込みください。



公開講座 申込必要

日時	講師	テーマ
11月05日(土)	大野 誠	科学史とイギリス史が交差する点 ―ニュートンの錬金術を例に―
	福岡 千珠	高天原とアイルランド
11月12日(土)	天野知恵子	母性の時代の母親像―18・19世紀フランスの歴史と文学から
	久田由佳子	アメリカ独立革命とジェンダー―2つの茶会事件を中心に
	伊藤 滋夫	君府(コンスタンティノープル)から費府(フィラデルフィア)へ―大西洋革命とフランス公債―
11月26日(土)	奥野 良知	世界史のなかのカタルーニャの工業化―バルセロナ、ヨーロッパ最大の染料織物産地?―
	池田 利昭	近世ドイツの領邦国家におけるポリツァイ
12月03日(土)	今野 元	近現代ドイツ・ナショナリズムの「機能」変容―「右の」ナショナリズムと「左の」ナショナリズム
12月10日(土)	興部 潤	世界史のなかの明治維新:西洋化から「中国化」へ?
	上川 邁夫	世界史のなかの「国風文化」
12月17日(土)	加藤 史朗	世界史から見た「ユーラシア国家ロシア」の成立
	黄 東麗	教科書にみる日本と中国の世界史教育

●募集人数/120名(先着順)

●会場/愛知県立大学 長久手キャンパス

●公開講座受講料/1,000円(全6回分)

●毎日13:30～16:40

●申込方法/住所はがきまたはEメールに「住所、氏名(ふりがな)、電話番号、公開講座希望」をご記入の上、下記申込先へお送り頂くか、QRコードの携帯サイトからお申込みください。



募集期間 9月5日(月)～10月17日(月)まで

●申込及び問合せ先/T480-118B(住所記載不要)
愛知県立大学学務課学務分室1522室3
愛知県立大学学務情報課 研究支援・地域連携課
電話番号 0561-64-1111(代)内線6132
Email:renkei@bur.alchi-pu.ac.jp

●地下鉄「徳が丘」駅から八幡行きリニモ(東部丘線)約13分
「愛・地球博記念公園」駅下車 北へ徒歩5分
●愛知県快速道「八幡」駅から徳が丘行きリニモ(東部丘線)約3分
「愛・地球博記念公園」駅下車 北へ徒歩5分
●駐車場スペースに限りがありますので、公共交通機関でのご来場下さい。

交通アクセス



【県大アゲインチラシ】



【講座概要】

愛知県立大学では「県大アゲイン」として、かつて本学で教鞭をとられた先生方をお迎えする公開講座を企画しました。今回のテーマは「もう一度ヨーロッパの歴史と文化に学ぶ」です。前世紀の末以来、色々な分野においてグローバル化の名の下で「アメリカ基準」が浸透しました。パソコンと英語がグローバルリテラシーであること、いまや誰も否定出来ないうえ、しかし、反面、様々な場面で疲れや涙みが目立ち始めています。如中に開を求め、少し立ち止まって考えてみませんか。

	日 時		講 師	テ ー マ
1	平成23年 6月12日(日)	10:30 ~ 12:00	吉瀬征輔先生 外語学部英米学科 昭和46年4月～平成17年3月在職	<体制再編の時代>における イギリスと日本の政治
2	平成23年 6月26日(日)		日置雅子先生 外語学部ドイツ学科 昭和47年11月～平成22年3月在職	ドイツにおける魔女狩り
3	平成23年 7月10日(日)		可知正孝先生 外語学部ドイツ学科 昭和44年4月～平成15年3月在職	詩人ハイネとドイツ文学
4	平成23年 7月17日(日)		布施温先生 外語学部スペイン学科 昭和45年4月～平成19年3月在職	虹と音楽とスペイン語と
5	平成23年 7月24日(日)		早水洋太郎先生 外語学部フランス学科 昭和48年4月～平成18年3月在職	小説における「語り」について - 19世紀小説の特徴

- 会 場** 愛知県立大学サテライトキャンパス (愛知県産業労働センター ワイंकみい 15階)
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-35
- 募集人数** 愛知県立大学同窓生及び一般参加者 60名(先着順)
- 申込方法** 平成23年5月31日(火)までに、下記まで郵便(往復はがき)又はEメールに、住所、氏名、電話番号をご記入のうえお申込みください。
- 受講料** 1,000円(5回分) ※初回受講時にお支払い下さい。
- 申込先** 〒480-1198
愛知県愛知郡長久手町大字熊浜字茨ヶ原南 1522-3
愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課
電話：0561-64-1111 Eメール：renkei@buraichi.pu.ac.jp



メールはこちらから ※ご受講の際は、公共交通機関をご利用下さい。

【研究会チラシ(学内掲示用)】

地域連携センター文理連携研究会

<講演テーマ>

The impact of the internet on society
-pluralism and social cohesion-
(社会におけるインターネットの影響
- 多元主義と社会的一体性 -)

<講演概要>

インターネットとモバイル通信インフラの統合により、私たちは誰とでもいつでもどこでも通信できるようになった。

しかし私たちは本当に自由な通信社会に向かっているだろうか。

複数の人種・宗教・政治・信条などが同時に平和的に共存している、多元的共存と開かれた社会のためのインターネットの可能性は、少なくとも、インターネット資源の独占的な利用とそれらの情報とコミュニケーション活動の範囲を制限するユーザー側の関心と認知能力の不足という2つの要因によって制約されるだろう。(講演は英語で行います)

<講師プロフィール>



Prof. Dr. Franz Waldenberger
(フランツ・ヴァルデンベルガー)

ミュンヘン大学教授
経済学者。ドイツフラルツ地方出身。専門は日本経済、制度比較、コーポレートガバナンス、ガバメントリレーションズ、日独両国政府の諮問機関「日独フォーラム」の専門委員などを努め、両国の学会のみならず政財界にも人脈を持つ。東京大学、京都大学などで外部評議員も務める。

開催日時：10月28日(金) 3限 12:50~14:20

会場：S201教室

※申し込み不要、当日参加もできます。

問い合わせ先：愛知県立大学事務局 学術情報部 研究支援・地域連携課
0561-64-1111(内線 6132)

地域連携センター公共政策研究会

「JICAボランティアセミナー ～国際協力というシゴト～」

開催のお知らせ

JICA(独立行政法人国際協力機構)の事業概要の説明と、青年海外協力隊経験者によるボランティア活動体験談を通して、国際協力のあり方や国際理解の促進について学びます。

日時：11月14日(月)14時30分～16時
(申し込み不要、当日参加も可能です。)

場所：県大長久手キャンパス 講堂

<当日のプログラム>

- ①JICAボランティア事業概要説明
<講師>山口恭平氏(青年海外協力協会中部支部 ボランティア事業担当)
2008年、青年海外協力隊としてインドネシア共和国に赴任。
- ②青年海外協力隊OG講演
<講師>山本智恵氏(JICA中部なごや地球ひろば勤務)
2006年、青年海外協力隊としてマラウイ共和国へ赴任。
- ③質疑応答

【問合せ先】

- 愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課
0561-64-1111(内線6132) Eメール:renjien@our.aichi-pu.ac.jp
- 愛知県立大学外国語学部国際関係学科 進学指導
0561-64-1111(内線2516) Eメール:kamei@for.aichi-pu.ac.jp

2012年1月18日(水)

10:30-12:00(2限目) H202にて

公開授業のお知らせ

ドキュメンタリー映画「ディアピョンヤン」の監督・やんよんひさんをむかえて

映画「ディアピョンヤン」(ベルリン国際映画祭・最優秀アジア映画賞など受賞)「愛しきソナ」「かぞくの国」(2012年夏公開予定)の監督やんよんひさんをまねきます。映画で描いている「在日」「家族」「国家」「イデオロギー」などをめぐる問題について語っていただきます。みなさま、是非、おいでください。

問い合わせ：
山本かほり(社会福祉学科・准教授)
G412(内線1412)
kaori-y@ews.aichi-pu.ac.jp

科学研究費補助金(基盤C「朝鮮高校における『民族』の形成・継承・変容のメカニズム」) 研究代表：山本かほり)と本学地域連携センターとの共同開催を予定しております。



やんよんひ(梁英姫)さん
朝鮮大学校卒・NY ニュース
クール大学院修士課程修了

【高大連携事業 「高校生のための講座」チラシ】

【愛知県立大学高大連携事業】

高校生のための講座



「ことば、文化、社会…外国を知る」

愛知県立大学では、外国語教育及び国際教育の分野での高大連携推進のため、高校生を対象とした公開講座を開催します。

今回の講座は、「ことば、文化、社会…外国を知る」をテーマに、外国語学部というところではどんな教育や研究が行われているのか、その魅力や意義を感じてもらうとともに、今後の進路についての関心と意欲が高まることを目的とします。

〈開催スケジュール〉

日時	講師	講義内容
3月3日(土) 10:00~12:00 (受付開始 9:30~)	講座① 原 潮巴(ヨーロッパ学・フランス語専攻) 【専門:フランス語・フランス文化】	日本語の中のフランス語、フランス語の中の日本語、日本におけるフランス文化、フランスにおける日本文化について、多面的に学びます。
	講座② 稲村哲也(国際関係学科) 【専門:文化人類学】	マチュピチュ遺跡で有名な古代アンデス文明とは？文明を築いた人びとの子孫は今どうしてる？
3月10日(土) 10:00~12:00 (受付開始 9:30~)	講座① 石原 寛(英米学科) 【専門:英語学】	英語は長い歴史を経て今の姿になりました。英語の昔の姿に触れてみましょう。
	講座② 川尻文彦(中国学科) 【専門:中国思想・文化】	21世紀は中国の時代か？中国語は世界中で話されている？中国語と英語、どこが違う？

※1講座は50分を予定しています。講師等については今後、変更になることもあります。

※受講については、両日(4講座)の受講を原則とします。

愛知県立大学外国語学部で行われている教育・研究について、
様々な分野の話を知ることができますので、是非ご参加ください。

- 会場
愛知県立大学サテライトキャンパス(右図参照)
(名古屋市中村区名駅4-4-38 愛知県産業労働センター15階)
- 受講料
無料
- 定員
50人(愛知県内の公立高校生)
※定員をオーバーする場合は調整させていただきます。
※引率不要。ただし、現職教員の傍聴については若干名に限り可。
- 申込方法
申込みにあつては、各高校において参加希望生徒の氏名、学年、性別をとりまとめたうえ、平成24年2月22日(水)までに下記アドレスへメール送付いただくか、別紙によりFAX送付してください。
Eメール: renkei@bur.aichi-pu.ac.jp
F A X : 0561-64-1104



【問い合わせ・申込先】
愛知県立大学 事務局研究支援・地域連携課
担当: 伊藤、林
電話: 0561-64-1111(内線6132)
FAX: 0561-64-1104
Eメール: renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

主催: 愛知県立大学外国語学部・愛知県立大学地域連携センター

○地域連携センター ホームページ

ホームページアドレス <http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei>

地域連携センターの概要や活動報告、これから開催する講演会、講座等のお知らせを掲載しています。

また、研究・地域連携の概要、各学部の特徴や研究者の紹介などを収めた地域連携センター発行の冊子「愛知県立大学の特色と研究概要」も閲覧することができます。

【地域連携センターHPトップ】

愛知県立大学地域連携センター

Aichi Prefectural University Community Liaison Center

▶ [愛知県立大学ホームページ](#) ▶ [HOME](#) ▶ [サイトマップ](#) ▶ [お問い合わせ](#)



地域と共に築く パートナシップ

TOP

センター概要

公開講座・学術講演会

各種連携事業

研究会活動

研究者一覧

産学連携

大学の地域連携活動の総合窓口

愛知県立大学地域連携センターは、行政、産業界、研究機関、他大学、小・中・高等学校、NPOなどの各種団体、地域住民との連携活動を円滑かつ、組織的に推進する総合的な窓口です。地域の多様なニーズに対応するため、教育研究の成果を社会に還元するとともに、ボランティアや各種連携行事などに学生が積極的に参加できるようにコーディネートや支援を行います。さまざまな地域連携活動を通して、愛知県立大学が「地域共同の財産」となるように努めます。

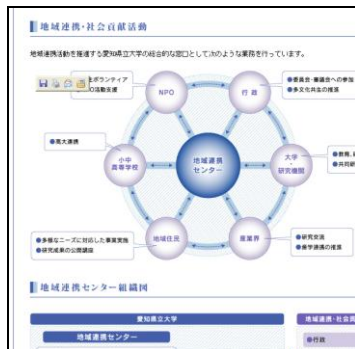
お知らせ

■ 同窓生対象講座「県大アゲイン」を開催いたします。

講座概要：愛知県立大学外国語学部でかつて教壇に立たれた先生方をお迎えし、今一番関心をお持ちのテーマについてお話しさせていただきます。

日時 2月12日(土)、2月19日(土)、2月27日(日)
14:00~16:00

地域連携センター概要



講演会、講座の結果報告

【開催案内】 公民教育研究会

「『福地』プロジェクトと社会発展 - アジアの国際化と国際協力」

講師：アソシエイト・プロフェッサー 藤原 浩二 (アソシエイト・プロフェッサー 藤原浩二)

日時：平成22年12月21日(水) 13:00~16:00

場所：系6ホール(2F) 9201 特別講義室

【開催案内】 産学連携研究会

「『福地』プロジェクトと社会発展 - アジアの国際化と国際協力」

講師：山崎 和典 (国際教養学部 産学連携センター 研究開発推進室 副センター長)

日時：平成22年12月21日(水) 12:00~14:20

場所：系6ホール(2F) 産学連携センター 多目的ホール

【開催案内】 女性学研究会

「『福地』プロジェクトと社会発展 - アジアの国際化と国際協力」

講師：伊藤 美穂 (女性学専攻 女性学専攻 専任講師)

日時：平成22年12月21日(水) 14:30~16:00

場所：系6ホール(2F) 産学連携センター 多目的ホール

看護実践センターHPへのリンク

愛知県立大学 看護実践センター

平成22年度 愛知県立大学看護実践センター 高齢者高度実践看護フェロップセミナー開催のお知らせ

テーマ：認知症をもつ人々の看護を履修した先輩ナース・センター・ケアの理念から日本のケア実践を学ぶ

講師： 遠藤 裕子 先生

国立長寿医療研究センター 認知症高齢者総合診療科 内科社会診療部長

日時：平成22年11月18日(月) 15時~17時

場所：愛知県立大学サテライトキャンパス「愛知県産業労働センター(ウィングあいち)」15F

対象：病院・高齢者施設の看護員、看護系大学院生、修士生、看護教員

受講料：2,000円

申込締切：平成22年11月15日(水)

平成24年3月発行

編集・発行 愛知県立大学地域連携センター

愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3

電話:0561-64-1111

<http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei>